

Minds事業報告/ 診療ガイドラインの活用促進に向けた Mindsの取り組み

日本医療機能評価機構EBM医療情報事業部
診療ガイドライン活用促進部会長
国際医療福祉大学医学部消化器外科学教室
吉田雅博

日本医療機能評価機構の事業

- 病院機能評価事業
- 産科医療補償制度運営事業
- EBM普及推進事業 (Minds)
- 医療事故情報収集等事業
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業
- 認定病院患者安全推進事業
- 教育研修事業

EBM普及推進事業：Minds

- 2002～2010 厚生労働科学研究費補助金
- 2011～ 厚生労働省委託事業



ユーザー登録数約 6.5 万人(2018年1月末)
約 120万ページビュー/月

Mindsの主な業務

医療の質向上を医療情報の面からサポートする

1. 診療ガイドライン作成支援	▶ 診療ガイドライン作成組織に対する様々な支援を通して、質の高い診療ガイドラインが作成されるようにする
2. 診療ガイドラインの 評価選定・公開	▶ 評価選定作業を通してEBMの手法に基づいた診療ガイドラインの掲載を進め、質の高い医療情報を提供できる診療ガイドラインデータベースを構築する
3. 患者・市民の支援	▶ 患者・市民の価値観や希望を診療ガイドラインに反映させること。 ▶ また、患者・市民にとって有用な診療ガイドライン関連情報を提供すること。
4. 診療ガイドライン活用促進	▶ エビデンスに基づいた推奨の実践を増やすために、診療ガイドラインの利用の普及を図る

診療ガイドライン活用促進

- ◆ 目的
エビデンスに基づいた推奨の実践を増やすために、診療ガイドラインの利用の普及を図り、効果を検証する。
- ◆ 枠組み
 - ① 診療ガイドライン活用の提案
 - ② 診療ガイドライン活用のPR
 - ③ Minds-QIPプロジェクト
 - ④ 医療の質向上モデルにおけるガイドラインの位置付けの確認と作成・利用方法
 - ⑤ 本邦および海外の最新情報

①活用事例調査

臨床現場等で診療ガイドラインを活用している事例を取材し、Web上で紹介しています。



https://minds.jcqhc.or.jp/s/user_info_case

②診療ガイドライン普及啓発活動

Mindsフォーラム

Mindsポスター／リーフレット



- 診療ガイドラインの普及のために医療利用者・医療者を対象にしたMindsフォーラムを開催 (1回/年)

- リーフレット・ポスターの配布、雑誌記事・広告の掲載、など

③Minds-QIPプロジェクト

臨床現場において、診療ガイドラインの活用とその有効性について検討するプロジェクト「Minds-QIP」を開始 (2014/4~)

- 構造化された診療ガイドラインデータベースでの情報提供
- コモンディーズ (日常的に高頻度で遭遇する疾患) エビデンス・セットの作成
- QIを用いた診療ガイドライン活用実態と診療行為に及ぼす影響の調査・研究
- 診療ガイドラインの情報検索環境についての調査

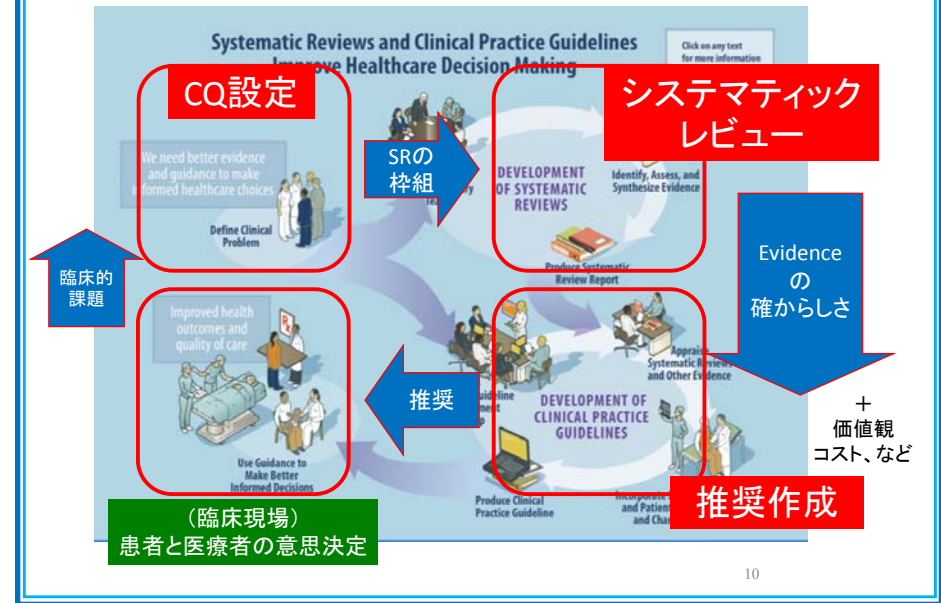
④質向上モデルと診療ガイドラインの役割

- そもそも、診療ガイドラインは、患者アウトカムの改善を目標として作成されている
- しかし、患者アウトカムを改善（医療の質向上）させる手段はひとつではない

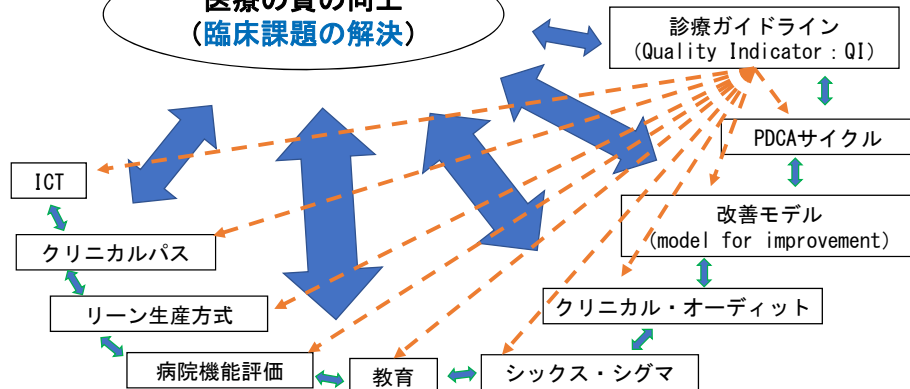


- 医療の質向上モデル全体の中での、診療ガイドラインの役割について検討

診療ガイドライン作成過程と臨床現場



医療の質の向上 (臨床課題の解決)




診療ガイドラインは医療の質向上のためのひとつの手段

→ 診療ガイドラインが提示するQuality Indicatorは、他の質向上モデルに利用され、医療の質の向上に広く寄与しうる

診療ガイドライン利用者(医療者)向けの提案

- 診療ガイドラインの作成方法を理解し、自らの臨床課題を解決するために、推奨をどの程度活用できるか判断してほしい
- 臨床課題を解決する（医療の質を向上させる）ために、診療ガイドライン・QIの活用を検討してほしい。
(例1) 診療ガイドライン推奨の普及度をQIを用いて検証する
(例2) PDCAサイクルやクリニカルパス等に、診療ガイドライン・QIを組み込む
- 診療ガイドライン・QIを活用した結果を、作成者にフィードバックしてほしい

今後の計画（案）

	診療ガイドライン利用者向け	診療ガイドライン作成者向け
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> 広報（外部組織と連携） 診療ガイドラインに関する正しい知識の普及（診療ガイドライン利用者向けQ&A） 診療ガイドライン・QIの活用事例を調査（海外事例調査、臨床現場の取り組みを取材）し、紹介する（診療ガイドライン活用事例紹介） 	<ul style="list-style-type: none"> 診療ガイドライン（QI）の効果どのように測定しているか、調査（海外事例調査、作成団体にインタビュー） Minds-QIP調査 効果測定方法を検討
2019年度	<div style="text-align: center;">  <p>継続</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 効果測定方法を検討 検討した内容を実践（協力いただける作成団体を募集する）
2020年度		<ul style="list-style-type: none"> 実践した結果を検証し、効果測定方法を最終化する
<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> 診療ガイドライン活用マニュアル（仮）を公開 （一部はCPG作成マニュアルにも盛り込む） </div>		

13

⑤診療ガイドライン普及・活用に向けた本邦・世界の最新情報

医療、公衆衛生活動に、エビデンス・ベースド・メディスン:EBMの概念が導入され、エビデンスに基づく介入法が、ガイドラインとして示されるようになった。

しかし、ランダム化比較試験などで有効性が示された介入法が、現実社会の診療やケア、公衆衛生活動に速やかに取り入れられ日常的に実施されているとは必ずしも言えない。

以上のような背景から、近年、欧米を中心に「普及と実装の科学」についての議論が活発になっている。

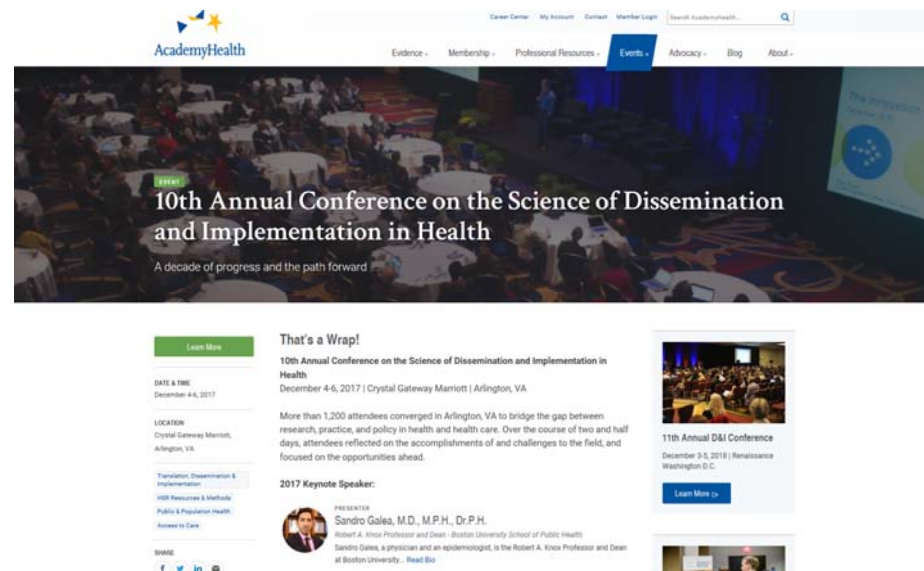
14

Dissemination and Implementation Science （普及と実装科学）

様々な研究デザイン、方法論を用い、患者、保健医療従事者、組織、地域などのステークホルダーと協働しながら、エビデンスのある介入法を、効果的、効率的に日常の保健医療活動に取り入れる方法を開発、検証する学問領域。

15

2017年12月4-6日 第10回普及と実装科学学術会議開催 NIH, AcademyHealth, Arlington, VA



AcademyHealth

10th Annual Conference on the Science of Dissemination and Implementation in Health
A decade of progress and the path forward

Learn More

That's a Wrap!
10th Annual Conference on the Science of Dissemination and Implementation in Health
December 4-6, 2017 | Crystal Gateway Marriott | Arlington, VA

More than 1,200 attendees converged in Arlington, VA to bridge the gap between research, practice, and policy in health and health care. Over the course of two and half days, attendees reflected on the accomplishments of and challenges to the field, and focused on the opportunities ahead.

2017 Keynote Speaker:
Sandro Galea, M.D., M.P.H., Dr.P.H.
Robert A. Knox Professor and Dean - Boston University School of Public Health
Sandro Galea, a physician and an epidemiologist, is the Robert A. Knox Professor and Dean at Boston University. Read Bio

11th Annual DAI Conference
December 3-5, 2018 | Renaissance Washington D.C.

